



ノッティンガム・アナログ・スタジオ Nottingham Analogue Studio Interspace Jr.

¥312,900

●トーンアーム部 (Interspace Arm)] ●型式:スタティックバランス型 [ターンテーブル部] ●駆動方式:ベルトドライブ ●回転数:33・1/3、45rpm
●プлатター:アルミ合金製、自重・7.0kg [総合] ●寸法/質量:W475×H130×D380mm / 14kg
●モニトレーディング ☎ 050 (3375) 3975

AT-ART7に替えると大幅にクオリティアップし 音場の奥行き感がグッと深まり、密度感も向上

最高のS/Nを得るため、超極小トルクだが超ローノイズの24極ACシンクロモーターを採用。このモーターはプлатターの定速回転を維持するトルクしか持たず、スタートさせるには最初は手で回してあげる必要がある。軸受けノイズが出やすいボールベアリングは排除され、超高精度のブロンズ軸受けとステンレススピンドルを採用。プлатターは共振特性に優れたアルミ特殊合金をベースにした重量級だ。手動スタート時のグリップを兼ねる2本のダンピングベルトと丸断面のドライブベルトによって、いっそうの低共振化を実現している。ベースボードには英国産の良質なブナ材を使用。ワンポイントサポート方式の「インタースペース・アーム」を搭載する。このトーンアームは、アルミ、真鍮、ステンレスを高精度で削り出し、カーボンを含む音響・振動伝達特性の異なる素材を組み合わせてレゾナンスを打ち消し、不要な共振を防いでいる。

本調子ではなかったのかもしれないが、トーンアームを触るとノイズが出る。アース不良なのだろうか。プーリーとベルトが擦れるようなスリッ音が聴きとれるのも気になった。トーンアームはワンポイントサポートの割には調整もやりやすく使い勝手はわるくない。

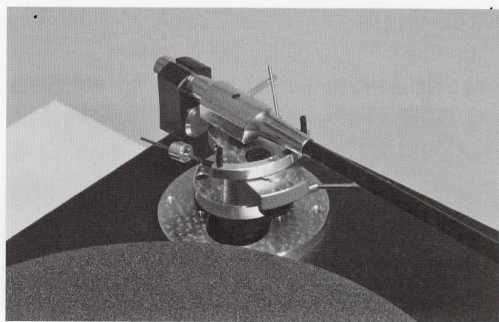
シュアードで聴く「ハリー・ジェイムス」は、軽快な音がス

ピーカーの間に拡がる。前に迫り出してくるタイプではないが、後ろにグッと引いた音場が展開するわけでもない、スピーカーを結ぶ線上に適度な奥行きが再現される。「コラボレーション」のベースは量感タップリで厚みもある。

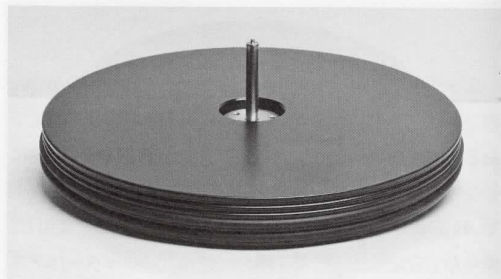
「アン・パートン」の声はちょっとくぐもった印象だが、ニュアンス変化はよく再現されている。「エグモント」の低弦は量感十分で迫力もあり、ローレベルの分解能もよい。「ダイアー・ストレイツ」の力強さには感心したが、さらにヌケの良さを望みたい。

「ハリー・ジェイムス」でカートリッジをAT-ART7に替えると、大幅にクオリティアップし、音にしなやかさが出てくる。音場の奥行き感もグッと深まり、スピーカーの間に音がみっちり詰まっているという印象だ。トランペットも輝きを増す。「コラボレーション」の出だしのバスドラは迫力十分。ベースも弾力を感じさせる丸くて雰囲気の良い音だ。クラリネットのまるやかさもシュアードより断然いい。感情の震えが伝わってくる「アン・パートン」も聴き応え十分。喉の潤いが絶妙に感じとれる。「エグモント」でも、低域の分解能がシュアードとは比較にならないほど向上。高級カートリッジにも対応できる実力派と聴いた。

Nottingham Analogue Studio



9インチ長のカーボンファイバー製ストレートタイプのスタティックバランス型トーンアームを搭載。一点支持型で、偏心型のカウンターウェイトを採用しているが、使いやすいアームだ



厚さ 37mm、自重 7kg という重量級のアルミ合金製プラッターの裏面。プラッターの側面には 2本のダンピングベルトを装着し、共振を低減する対策を採用



プラッター中央のステンレス製スピンドルシャフトを挿入するブロンズ製軸受け



極小トルクの 24 極シンクロナスモーターの極めて細いモーターシャフトに、右側のプーリーを差し込む。プーリーの溝と駆動ベルトが一直線になるよう、モーターユニットの高さを調整する